

Title	雑報
Author(s)	
Citation	地球 (1928), 10(3): 238-240
Issue Date	1928-09-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/183485">http://hdl.handle.net/2433/183485</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

錢)のこの一小冊子となつたことを見て著者の留學に先だつての會心の笑ひを想像するものである。(F)

## 雜報

### ○夏期學校から

本年八月一日より二十二日に至る京都府教育會の夏期學校は、殆ど全國の篤學者を集めた、中にも

地理科は、北は北海道から南は臺灣にわたつて百八十名の講習員が來會して、いかにも盛んなものであつた。地球學園の諸先生の奮闘もさることではあるが、連日六時間百二十時間といふ長期の大講習をうけつゝ、歸つてから下宿や寄宿舎に居る我來會の諸君は夜の十一時迄もノートの整理に従事して、六々敷い地圖學や地形學に新たな智識を得て喜ぶこと限りがない。講師から見た滿堂の聽講者の眞摯さは蓋し類例が少い、短期の夏期の講演會などでは見るべからざるの眞剣さがあつた。京都府教育會はかうした成績を見て我地球學園に心からの感謝をささげたいと云つてゐる。

### ○北支那沿岸の航路網

北支那沿岸とは大連、天津、青

島の三港鼎立的位置の間である。この三大港に營口、安東、芝罘、威海衛、龍口等の諸港を加へる。この區間の中心は大連で天津、芝罘、安東、青島、龍口等皆大連と往復する航路がある。

大連天津間には大連汽船の大連天津線、大連安東天津線あ

り前者は天津丸、長平丸、一ヶ月十航海、後者には天潮丸と濟通丸、月六回の往復をする、昨春來白河の流砂堆積溯航不能の爲前記天津、長平の二船は大連上海線に廻はされた。

大連安東間、は右の一線の外政記公司の大連青島安東線及大連龍口安東線を以て連結する。廣利有利の二船にて月四五回の航海する。但し安東は冬期結氷する爲、同期中は中止。

大連山東間には、大連汽船(大連、龍口、登州府線)田中商社(大連芝罘)政記公司(大連、芝罘)阿波共同(大連、芝罘、威海衛)の諸線がある。配船は阿波共同の廿一共同丸、十六共同丸の千噸級を除き、大汽の龍平、田中の海壽、海寧、政記の永利等皆數百噸の小汽船である。航海度數は阿波共同及大汽の各船は月六回、他は隔日往復である。本航路は出稼客力の渡滿と更に近時國內の戰亂に迫はるゝ避難移民の渡來で大繁昌を呈する。猶營口を基點とする驛興輪船公司が營口より天津、龍口、芝罘、青島へ配船し屢々大連に寄港する。

この外に重要なのは大連から他の海港にゆく航路で大連上海線月十回、大連營口阪神線月一回、大連芝罘仁川線月四回、大連仁川線月四五回、高雄大連線月三回、大連大阪線月十一回、南北支那線年二〇回、大連香港線、朝鮮長崎大連線月四回、朝鮮北海道大連線年二十回宇品糸崎大連線月一回があるが、中支那との連絡が不十分である。

遼洋航路に於ては大連によるものは少い、多くは中支那、南支那に引かれるがそれでも内外を合せて二十一線は北支那に回航するといふ。

## ○巴里と倫敦

巴里はいかにも外觀はきれいだである。見る物、ふれる物、一つの家にしても芝居にしてもすべて悉く巴里のはオリガナルである。並木道路の幅廣い道が鏡のやうに綺麗である、それもその筈で巴里の塵埃處分は至れり盡せりであつて、巴里に一年居つた人でも二年居つた人でも塵埃車を見る人は稀である夜の十二時から蒐集して朝の五時六時にはもう終つてゐる。ハート形になつた巴里の隅の方の四ヶ所に金塵埃を運んで了つて、大工場で處分する一日に二千噸から三千噸の塵埃を處理し、毎朝市内を綺麗に洗ひ盡くすのであるからいかにも美しい。獨逸の柏林も其通り眞似てゐるさうした美はしい巴里から倫敦にゆくとその穢いのに驚かぬ人はなからう。ロンドンの中心には今もソットが拵へた機關車のやうな荷車が二臺も三臺も動いてゐる。むき出しの煙突が一户當り數個ついてゐて貧家の壁の煉瓦も不潔なものである。英國は田舎は美しいが都會はどうも不潔で、市街の體裁を見るとバーミンガムより大阪の方がきれいだといふ位である。しかしロンドンはその全面積百五十平方哩に亘つて悉く新式の下水道が出来てゐる、ベルリンでもその五割しか下水が出来てゐないと云ふのに、これは又驚くべき進歩である。従つて倫敦の中心の道路の表に馬糞がたまつてゐても荷車が多く通つてゐても、其地下設備は遙かに巴里をしのぐ。公衆便所のきれいな倫敦の如きは他國では見られない。そこで英吉利にはチアスが殆ど無くなつた、倫敦でこれに目につくのは、その細民の住宅の改良建設の行き渡つたことである。こ

れに反して巴里や柏林は一般細民の住むべき適當な家屋がない、故に巴里の結核患者は倫敦の數倍になつてゐる美はしい巴里はナポレオン一世以後同三世に至る王者の建都であるが之に反して倫敦は市民の都である。地上の住宅は穢くても外觀はどうであつても、衛生に適するといつた所に倫敦市に學ぶべき多くの長所がある。(戸田博士講述、大坂より拔萃)

## ○ポルトリコ島

この島は一八九八年米西戦争の結果北米の領有に歸したもので、西印度諸島の最東端部を占め、ハイチ共和国の東方七〇哩グアージン諸島より西方四〇哩の距離にある、長さ一〇〇哩幅三五哩、全面積三、四三五平方哩に過ぎず、人口密度は一平方哩に四〇〇人、住民は主として西班牙人及土人の混血種で黑人も多い、山脈は東西に走り最高峰、ハユヤ峰は海拔四、三九八呎、全島は大小五十の川によりて好く灌漑せられ傾斜地帯及平野は地味頗る肥沃である氣温は他の諸島に比し、一般に低い、平均温度は華氏七六度冬期七三度、夏期七八度、海岸の温度は七五度より八一度、高地は六七度乃至七六度である、夜分は冷氣頗る加り洵に爽快なるものあり、十一月より四月までを乾燥期とし、雨期は五月より十月頃迄である。雨量毎月平均六吋、主要な物産は甘蔗、煙草、咖啡、玉蜀黍、オレンジ、パイナップル、バナナ、棉花等にして其他比較的重要なものに椰子實、荳類あり、農産物の外に鑛産物としては金、銀、銅、鐵、大理石滿俺等各少量を産出す工業としては砂糖及煙草製造の外著しき

ものなし、首府サンフランは北方海岸に面し人口六萬船舶の出入多く自由に棧橋に横付す、本島交通の中心にして商業の中心地たり、ボンセボンセは本島第二の都會にして首府の東八一哩にあり人口四萬五千、帽子、レース、刺繡等の製造工業發達せり、北米占領以後産業大に發達し對外貿易は約二十倍するに至り輸出入一億九千三百萬弗に上る。

# ○我國在外名譽領事所在地

米 國 ホストン、フイラデルフイヤ、カルヴェストン

シユノー、モビール、セントルイス、サンシユアン

埃國維也納、ボリビア國ラパス、ブラジル國マナオス、チリ國イキケ、コロンビア國ボゴタ、致須國アラハ、丁抹國コペンハーゲン、エカアドル國グアヤキル  
佛 國 巴里、アルジエリー、ボルドウ、ペイルート、ルハーブル、チュニス

獨逸 ミュンヘン、ケルン、ステツテン、ライプチツヒ、アーヘン、フレイメン。

濠洲 アデレート、メルボルン、ブルーム

英 國 カーザフ、ミツドルスバラ、ダブリン、グラスゴ

南 阿 ダーバン、サブラルター

マルタ島ヴァレツタ、新西蘭ウエリントン、オークランド  
ギリシア國サロニカ、ハンガリー國ブダペスト

伊 太 利 セノア、リボルノ、ナーブル、パレルモ、ヴェ

ニス

ルクセンブルク國ルクセンブルク、諾威國オスロ、和蘭  
ロツテルダム、ベルー國ツルヒールヨ、葡國リスボン、西  
國バルセロナ、瑞典ゴツテンブルク、瑞西シユネホフ、チ  
ニールリツヒ